

ごあいさつ

毎日のように地球温暖化や廃棄物問題が報じられています。これらの環境問題は、CO₂や廃棄物が地球の自浄可能範囲を超えて排出されていることについて私たちに警鐘を鳴らしているものと受け止めています。

情報とエネルギーの世界で豊かなネットワーク社会づくりの一端を担う日立電線は、電線ケーブルや銅管などの材料分野の製品を多く生産している会社です。その事業形態から、生産活動におけるエネルギー消費量や原材料の一つであるプラスチックの廃棄物が多いという特徴をもっています。そのため、永年にわたりエネルギー使用の効率化や廃棄物最終処分量の削減などに継続して取り組んでいますが、生産活動と地球環境保護活動を両立させて十分な成果をあげるために、更に新しい技術の発掘・導入を積極的に行ない、環境保護・持続可能な社会構築に向けた取り組みを推進したいと考えております。また、これら地球環境保護の課題に取り組むためには、一人一人が高い意識を持ち相当な努力をすることが欠かせません。そのために、従業員に対する環境教育にも注力していく考えです。

環境に配慮した製品開発も重要な課題ととらえております。有害物質を含まない「エコグリーン」電線のラインナップはほぼ出来上がりました。建設廃材の電線ケーブルを回収してリサイクルするシステムも順調に稼動しており、循環型社会の形成に寄与していると自負しております。

ここに環境報告書2002を公表いたします。

環境報告書2002では、当社が策定したエネルギー・廃棄物の削減、環境に配慮した製品づくりの強化、化学物質管理強化についての行動目標とその活動成果・取り組み内容に加え、今年は大気・水質の状況や社会貢献活動、地域との交流など事業所における取り組みも紹介しました。当社の環境保護活動に対して、皆様方よりご意見・ご提案をいただければ幸いです。



取締役社長

原 精二